

アラブ首長国連邦（2023 年度）

- ・ [国・地域別情報トップページへ](#)
- ・ [各国・地域情勢](#)
- ・ [在アラブ首長国連邦日本国大使館](#)

1. 2021 年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. 日本語教育略史

1.2021 年度日本語教育機関調査結果

機関数	教師数	学習者数								
		合計	初等教育		中等教育		高等教育		その他教育機関	
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
10	28	598	0	0.0%	377	63.0%	58	9.7%	163	27.3%

（注）2021 年度日本語教育機関調査は、2021 年 9 月～2022 年 6 月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

沿革

日本語教育略史参照。

特徴

ハリーファ大学（2017 年にハリーファ大学・マスダール工科大学・石油大学が統合）やニューヨーク大学アブダビ校において、日本語の授業が選択科目のひとつとして実施されている。また、日本の民間企業の支援によりアブダビ首長国内の公立高校 1 校において日本語が課外授業として行われているほか、UAE 政府の外国語教育の一環としてシャルジャ首長国及びラス・アル・ハイマ首長国の公立高校 3 校において日本語が正規科目として導入されている。また、それ以外では一部語学学校などで日本語が教えられている。

伝統文化・歴史・ポップカルチャーなどの日本への興味、あるいは日本語という言葉そのものへの興味が日本語を学習する動機になっている。

最新動向

最近、日本のアニメ、マンガなどの影響により、若年者を中心に独学を含めて日本語学習者は増えている。日本語教育への需要は年々高まっており、ハリーファ大学のほか、2022 年からはニューヨーク大学アブダビ校において選択科目として日本語授業が行われている。

当国では教育省が非英語圏の国への留学促進のため、英語以外の外国語を複数の高校のカリキュラムに取り入れられている。公立高校において日本語は、中国語とフランス語に次いで 2022 年 10 月から導入されるようになり、シャルジャ首長国にある公立高校 2 校において、また 2024 年 2 月からラス・アル・ハイマ首長国の公立高校 1 校において日本語が正規科目として教えられており、各校に日本人教師が配置されている。

教育段階別の状況

初等教育

かつては日本語教育を実施していた公立小学校が存在していたが、2024 年現在日本語教育は実施されていない。

中等教育

ムハンマド・アブダビ皇太子（現大統領）からの要望により、日本の石油関連企業が日本の私立大学と共同で 2011 年 9 月より応用技術高等学校（ATHS アブダビ）において、課外科目として日本語教育の提供を開始した。2024 年現在、アブダビ首長国内 4 キャンパス（男子 2 校、女子 2 校）で日本語クラスを実施しており、3 名の日本人教師が当地に派遣されている。

また、2022 年 10 月からは当国教育省により公立高校における日本語教育が導入され、シャルジャ首長国にある公立高校 2 校及びラス・アル・ハイマ首長国にある公立高校 1 校において日本語が教えられており、各校に日本人教師が 1 名ずつ配置されている。

高等教育

2007 年以降、国内の主要大学で、在留邦人有志を講師としてクラブ活動に準じる形で日本語講座が開講された。2015 年からは、JICE（一般財団法人日本国際協力センター）が日本語講師の派遣を開始し、課外授業としては、2015 年 2 月から UAE 大学、2016 年 9 月からザード大学アブダビ校、2017 年からアブダビ大学で日本語講座が開講された。（その後、日本語講座を一時中止した大学もあった。）

2016 年 1 月からハリーファ大学で、2016 年 8 月から石油大学でも日本語の授業が開始された。（その後両大学は統合してハリーファ大学となり、現在も同大学で日本語が教えられている。）2021 年からは、ザード大学 Institute of Community Engagement において一般公開の日本語講座が開始されたが、現在は中止している。また、2022 年 9 月からニューヨーク大学アブダビ校でも日本語講座が始まった。

学校教育以外

日本語を教える民間の語学学校があり、日本人の日本語教師も何名か在籍している。

アブダビでは、日本 UAE 協会主催の日本語教室が年に 3 期（秋、冬、春）開催されている。（現在停止中。）また、シャルジャには、民間団体 UAE-Japan Cultural Center が随時開催する日本語教室がある。

3.教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

連邦政府としては 6-3-3 制を基本としているが、首長国レベルでは独自の制度を採用しているところもある。カリキュラムも、アブダビは独自のカリキュラムを有していたが、2017-18 年度から教育省とアブダビのカリキュラムを統合した統一のカリキュラムが導入された。

義務教育は 1 年生から 12 年生までである。高等教育機関には、大学、大学院、技術短期大学などがある。

教育行政

連邦教育省が管轄しているが、アブダビでは、アブダビ教育・知識庁（ADEK）が、ドバイでは知識・人材開発庁（KHDA）が教育行政において広範な権限を有している。しかし、近年の教育改革の中で、カリキュラムの統一化が進み、連邦教育省の役割が大きくなってきている。

言語事情

公用語はアラビア語だが、英語も広く使用されている。

外国語教育

1 年生から 12 年生まで英語が必修となっている。

外国語の中での日本語の人気

主にアニメなどのポップカルチャーを通じて若者の間では一定の人気があるとみられる。

大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

4.学習環境

教材

初等教育

日本語教育は実施されていない。

中等教育

ATHS アブダビでは『まるごと入門 A1 かつどう』『まるごと入門 A1 りかい』（三修社）を使用している。

ドバイ及びシャルジャの公立高校においては、JICE の委託を受けた東海大学が開発した UAE 人高校生向けの

日本語教材を使用している。

高等教育

ハリーファ大学では『まると入門 A1 かつどう』『まると入門 A1 りかい』（三修社）が使用されている。

学校教育以外

民間の語学学校は、学校により使用教材が異なる。Eton Institute では『Japanese for Busy People』、Berlitz では独自の教材を使用している。

日本 UAE 協会主催の日本語教室（現在停止中）では、『初級日本語 げんき』（ジャパントイムズ）を使用している。

IT・視聴覚機材

中等教育・高等教育の授業では以前よりパワーポイントが使用されている。また、新型コロナウイルス感染拡大を受け、Zoom などのツールを用いたオンライン授業が広く行われている。

5.教師

資格要件

初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

中等教育

ATHS アブダビには、日本語教育有資格者の日本人教師が派遣されている。また、当国教育省により、2022 年から公立高校においても日本語が導入され、日本語教育有資格者の教師が派遣されている。

高等教育

JICE（日本国際協力センター）派遣による日本語教育有資格者の日本語教師が授業を担当している。

学校教育以外

日本語教育の実施は確認されていない。

日本語教師養成機関（プログラム）

日本語教師を養成する機関やプログラムはない。

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

公立高校においては、当国教育省の組織である Emirates Schools Establishment が日本人教師と雇用契約を

締結している。また、ATHS には日本の石油関連企業が日本人教師を派遣している。そのほか、日本語教育有資格者の日本人教師が当地語学学校などで雇用されている。

教師研修

現職の日本語教師対象の研修はない。

6.教師会

日本語教育関係のネットワークの状況

2010 年、UAE 日本語教師会（UAE 在住の日本語教師たちの自発的な勉強会、相互サポートグループ）が発足した。また、中東諸国（エジプト、アラブ首長国連邦、イエメン、イラン、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、バーレーン、モロッコ、ヨルダン、レバノンほか）の日本語教師のネットワークがある（JF カイロ日本文化センターが主催）。

最新動向

特になし

[教師会・学会一覧へ](#)

7.日本語教師派遣情報

国際交流基金からの派遣

国際協力機構（JICA）からの派遣

JF、JICA からの派遣は行われていない。

その他からの派遣

JICE（日本国際協力センター）による大学への派遣及び日本企業による高校への派遣。

8.日本語教育略史

1992 年

Japan Week 開催を契機に、日本 UAE 協会主催の短期日本語講座開講

2006 年

アブダビ日本人学校・付属幼稚園で UAE 人子弟の受け入れ開始

2007 年	公立アル・アミン小学校で日本語教育開始（※2010 年に終了） 国立ザード大学のアブダビ・ドバイ両校、HCT アブダビ女子校、 HCT ドバイ女子校でも無単位ながら日本語講座開講（※2019 年現在すべて終了している）
2008 年	シャルジャの民間団体 UAE-Japan Cultural Center で日本語講座開講
2010 年	HCT アブダビ男子校で日本語講座開講（※2013 年に終了） UAE 日本語教師会発足
2011 年	ATHS アブダビ校にて日本語講座開講
2012 年	ハリーファ大学アブダビ校にて有志による日本語講座開講
2015 年	国立 UAE 大学にて課外活動として日本語授業開講
2016 年	ハリーファ大学アブダビ校、石油大学で日本語授業が正規科目として開講 国立ザード大学アブダビ校女子キャンパスで課外活動としての日本語授業が開講（1 年で終了）
2017 年	ハリーファ大学・マスタートール工科大学・石油大学が、ハリーファ科学技術大学として統合。旧ハリーファ大学と旧石油大学での日本語授業は、独立して開講 私立アブダビ大学で課外活動としての日本語授業が開講（1 年で終了）
2018 年	旧石油大学での日本語授業が終了
2019 年	ザード大学アブダビ校（男子・女子キャンパス）で課外活動としての日本語授業が開講（2020 年度は停止中）
2022 年	ニューヨーク大学アブダビ校で選択科目として日本語講座が開講。 アブダビ大学で選択科目として日本語講座が開講。